



REAL ESTATE PORTAL WEB SYSTEM

不動産ポータルサイト 構築システム

設置マニュアル

このたびは、不動産ポータルサイト構築システムを
ご利用いただき、誠にありがとうございます。

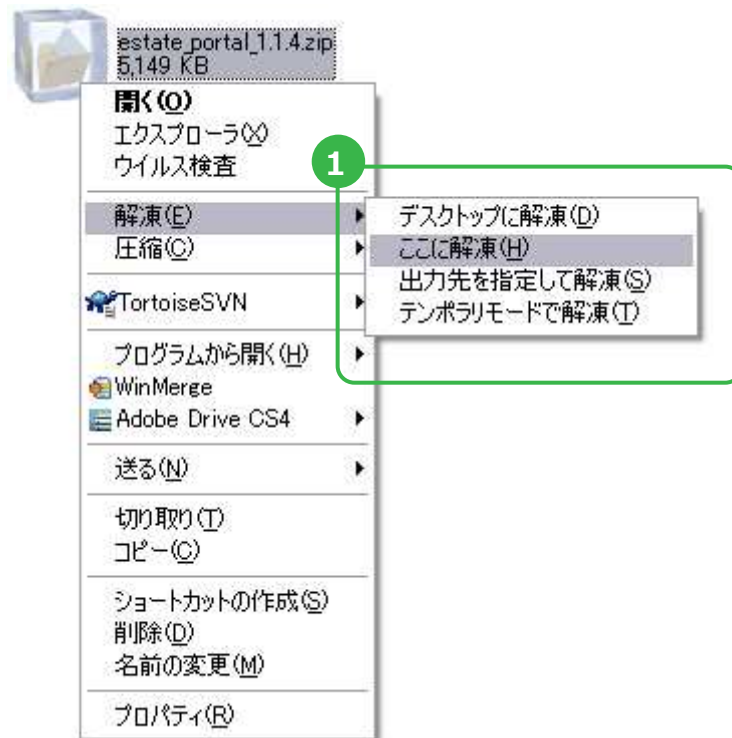
本マニュアルでは、主にシステムの設置について説明しています。

尚、内容はバージョンアップなどにより予告なく変更される場合があります。

1. インストール手順	3
1-1.圧縮ファイルの解凍	3
1-2.設定ファイルの編集	4
1-3.ファイルのアップロード	5
1-4.データベースの初期化	8
 2.インストール後の設定手順	 10
2-1.システム設置後の設定	11
2-2.管理画面へログイン	12
2-3.SSLの導入について	14
 3. その他	 15
3-1.エラー対処方法	16
3-2.インフォメーション	16

1-1.圧縮ファイル(ZIP形式)の解凍

ダウンロードしたパッケージのZIPファイル「[estate_portal_0.0.0.zip](#)」を解凍ソフトで解凍します。
ZIPファイル名についている数字は製品のバージョンとなっています。

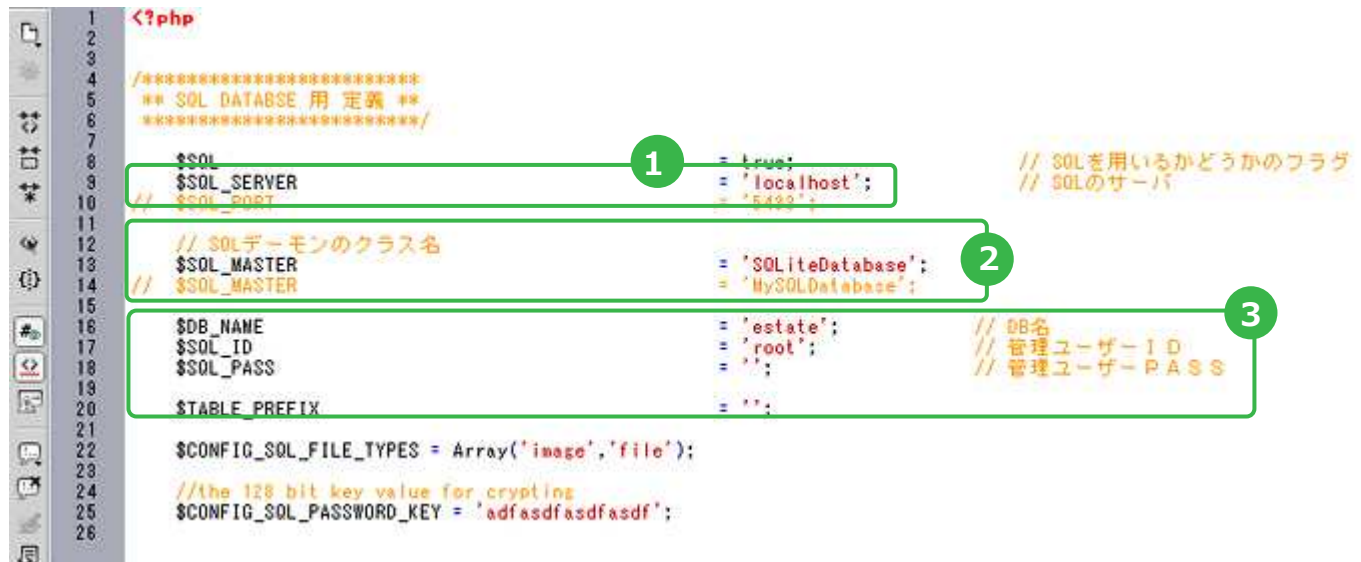


- 1 「[estate_portal_0.0.0.zip](#)」を選択し、右クリックします。「解凍」からファイルの解凍先を選択します。

1-2.設定ファイルを編集

設置先の環境に合わせて、各種設定ファイルを書き換えます。

データベースの設定ファイル「./custom/extends/sqlConf.php」をテキストエディタで開きます。



1 「\$SQL_SERVER='localhost'」は、サーバー側の設定に応じて変更してください。

2 「SQLデーモンのクラス名」より、データベースを選択します。

標準ではSQLiteが選択されており、そのままSQLiteをご利用される場合は本項2、及び3について設定を行う必要はありません。MySQLを選択する場合のみ以下の作業を行って下さい。

設定するデータベースの先頭にあるコメントアウト「//」を外します。

デフォルトでは「SQLite」に設定してありますので、先頭にコメントアウト「//」を記述して無効にします。

【初期設定】

```
$SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
```

```
// $SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
```

【変更後の設定】

```
// $SQL_MASTER = 'SQLiteDatabase';
```

```
$SQL_MASTER = 'MySQLDatabase';
```

これで、「MySQLDatabase」データベースに変更されました。

3 データベースに応じて、データベース名、管理ユーザーID、管理ユーザーPASSを設定します。

【初期設定】

データベース名 : estate

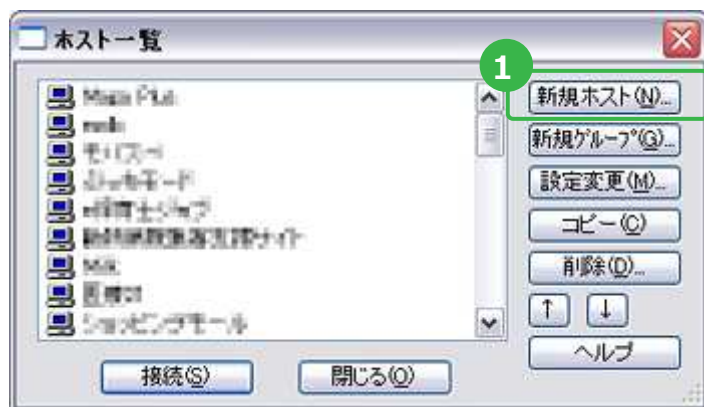
管理ユーザーID : root

管理ユーザーPASS : なし

※SQLiteに設定してある場合、ID、パスの設定は必要ありません

1-3.ファイルのアップロード（1）

FTPクライアントツールを利用し、パッケージファイルをサーバーにアップロードします。
フリーソフト「FFFTP」を使用してのアップロード方法を説明します。



- 1 FFTPアイコンをクリックすると、ホスト一覧が表示されますので、右横にある「新規ホスト」をクリックします。



- 2 「ホストの設定」画面にあるインデックス「基本」より、FTPアカウントを入力し「OK」ボタンをクリックすると、FTPサーバーに接続されます。

※ローカルの初期フォルダ（ファイルの保存先）を設定しておくと、アップロード・ダウンロード時に便利です。

1-3.ファイルのアップロード（2）

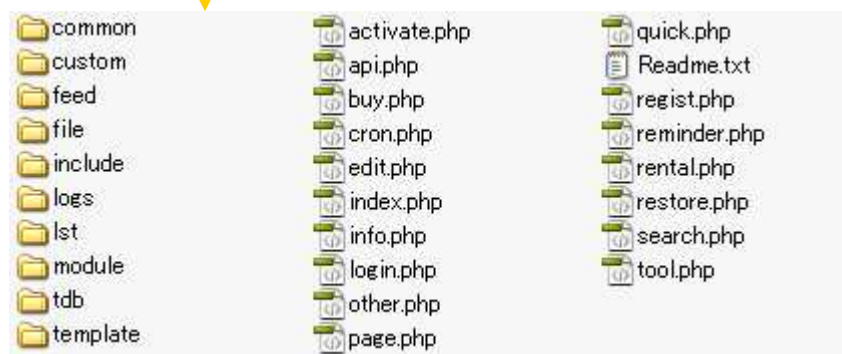


1 画面の左側は、ファイルの保存先が表示されます。

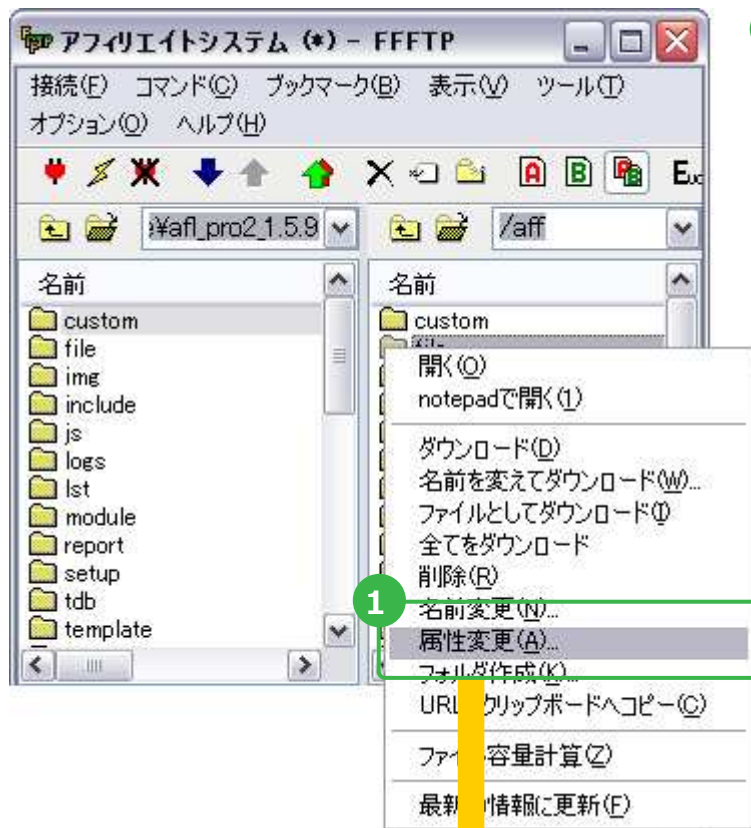
2 画面の右側は、FTPサーバーにアップロードされたファイルが表示されます。

保存先のファイルを全て選択し、ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードします。

アップロードするファイルの一覧です。

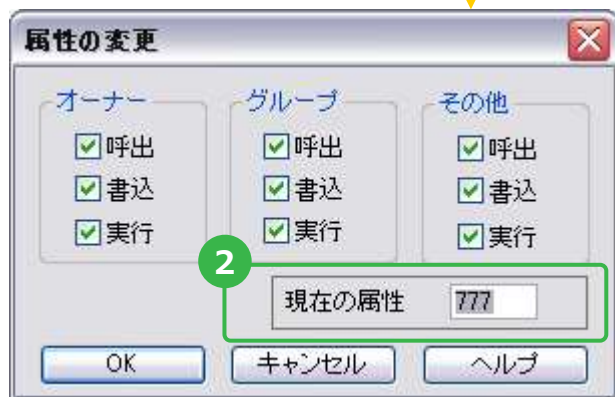


1-3.ファイルのアップロード (3)



- 1 画面の右側にあるアップロードされたファイルのパーミッションを変更します。

変更するファイルを選択し、右クリックで、「属性の変更」をクリックします。



- 2 「属性の変更」画面が表示されますので、「現在の属性」欄に下記の数字を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

./file/ →777
./file/以下にある全て →777
./file/image →777
./file/page →777
./file/tmp →777

./feed/ →777

./logs/ →777
./logs/以下にある『*.log』全て →666

./tdb/ →777
./tdb/以下にある全て →777
./tdb/common/以下にある『*.csv』全て→666
./tdb/items/以下にある『*.csv』全て→666
./tdb/module/以下にある『*.csv』全て→666
./tdb/system/以下にある『*.csv』全て→666
./tdb/template/以下にある『*.csv』全て→666
./tdb/user/以下にある『*.csv』全て→666

1-4.データベースの初期化（1）

データベースの作成

システムが使用するデータベースを作成します。

データベースの作成は、設置環境によって異なりますので、サーバーのマニュアルを参照ください。

データベースの文字コードは、「sjis」を指定して下さい。

参考)

phpMyAdmin等から操作を行われる場合は「sjis_japanese_ci」を指定してください。

ブラウザより「http://[設置先](#)/tool.php」にアクセスし、データベースの初期化を行います。



- 1 ログインフォームが表示されますので、初期設定パスワード「admin」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin

1-4.データベースの初期化（2）



- 1 ページの最下部にある「完全インポート」をクリックします。

※サーバーの状況により、非常に時間が掛かる場合があります。

※SQLiteご利用時は5分～15分以上かかる場合があります。

トップページ
完全インポート
一括エクスポート



- 2 「http://設置先/index.php」にアクセスしてシステムのトップページが正常に表示されていればインストールの完了です。

※「tool.php」はご利用後、必ずサーバー上から削除して頂くようお願い致します。

※SQL導入後「./tdb/以下のデータ」等は削除して頂くか、パスワード設定を管理者様の責任で行って頂くようお願い致します。

2.インストール後の設定手順

ここからは、サイトを運営するにあたっての設定手順についての説明です。

2-1.システム設置後の設定

2-2.管理画面へログイン

2-3.SSLの導入について

2-1.システム設置後の設定

ツールのログインパスワードを変更する

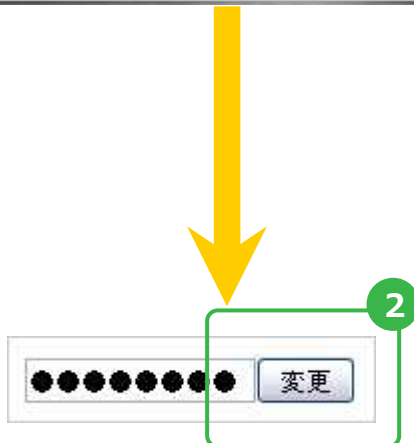
まずは、<http://設置先のURL/tool.php>にアクセスします。



デフォルトのパスワードを入力し、
「ログイン」ボタンをクリックすると、操作画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

パスワード : admin



1 ページの下部にある「パスワードの変更」をクリックします。

2 新しいパスワードを入力し、「変更」ボタンをクリックして、「変更しました」と表示されたら完了です。

POINT

tool.phpは、データベースを操作する為の重要なプログラムです。

上記に従いパスワードを変更するか、御利用後は削除するかいずれかを必ず行うようお願い致します。

2-2.管理画面へログイン（1）

管理画面へログインする

まずは、<http://設置先のURL/login.php>にアクセスします。

- 1 メールアドレスとパスワードを入力し、「**ログイン**」ボタンをクリックすると、管理画面が表示されます。

<デフォルトのアカウント>

メールアドレス : admin@example.com

パスワード : admin

2-2.管理画面へログイン（2）

ログインアカウントの設定

管理画面にログイン後、必ずログインアカウントを変更してください。
安全にご利用いただくためにも、定期的にパスワードを変更することをお薦めします。



- 1 管理メニュー「**ログイン情報の変更**」をクリックします。

2

ログイン情報の設定

メールアドレス【必須】	admin@example.com
パスワード【必須】	●●●●●●
パスワード(確認用)【必須】	

確認する

- 2 メールアドレスとパスワードを変更します。

2-3.SSLの導入について

独自SSLを契約されていてシステムにSSLを導入して頂く場合、下記の設定ファイルを変更してください。
SSLの設定ファイル「./custom/extends/sslConf.php」をテキストエディタで開きます。

```
1 <?php
2 include_once './include/extends/SSLUtil.php';
3
4 //SSLへのリダイレクトを有効に
5 $CONFIG_SSL_ENABLE = true;
6
7 $CONFIG_SSL_MOBILE = false;
8
9 $CONFIG_SSL_ON_CHECK_FILES = Array(
10     'regist.php', 'edit.php', 'cart.php', 'login.php', 'reminder.php'
11 );
12
13 $CONFIG_SSL_OUT_CHECK_FILES = Array(
14     'template.php', 'activate.php', 'favorites.php', 'index.php', 'info.php', 'other.php', 'page.php',
15     'report.php', 'search.php', 'shop.php', 'template.php'
16 );
17
```

1 「SSLへのリダイレクトを有効に」より、設定を変更します。

※デフォルトでは「\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;」に設定されています。

「false」を「true」に変更してください。

【初期設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = false;

【変更後の設定】

//SSLへのリダイレクトを有効に

\$CONFIG_SSL_ENABLE = true;

これで、「SSLの導入」への設定が完了です。

3.その他

その他、インフォメーションです。

3-1.エラー対処方法

3-2.インフォメーション

3.その他

3-1.エラー対処方法

Parse error:syntax error, unexpected T_OBJECT_OPERATOR in
./include/ccProc.php on line 592

A

上記のようなエラーが出た場合、お使いのPHPバージョンが5ではない可能性があります。
PHP 5が利用可能なサーバーに移転をお願い致します。

3-2.インフォメーション

ご自身での設置が困難な場合は、是非システム設置代行サービスをご利用ください。

■システム設置代行サービス料 : 31,500円

※サーバーが動作環境を満たしていないことにより、動作しない場合は、別のサーバーを準備して頂く必要がございます。

※事前にシステムの動作確認済みのサーバーをご紹介させて頂くことも可能です。

<アップデートについて>

<http://www.websquare.co.jp/update.html>

<アップデート手順>

http://www.websquare.co.jp/update_flow.html